

にしまるやま通信

季節の写真レビュー



『1日センセーシリーズ』

の活動報告

まるやまカー助の会の活動を前号に引き続きご報告いたします。今回ご紹介するのは地域交流の一環として
はじめた、円山西町児童会館での『1日センセーシリーズ』です。

記念すべき第1回目は、11月18日感染症予防についての啓発を目的とした『手洗い教室』を児童会館を利用する
子ども達向けに開催させていただきました。当日はカー助の会のメンバーをはじめ、当院や併設施設のスタッフで
児童会館を訪問し、正しい手洗い方法について手洗い評価キット(グリッダーバグ)を用いた体験学習をしていただ
きました。評価キットを用いることで、普段の手洗い方法では汚れが落ち切っていないことを目で見えて実感していた
だき、子ども達は楽しみながら参加している様子が見られました。後日、円山西町児童会館布川館長様より『教室開催
後、子ども達が熱心に手洗いを継続しています』といった大変嬉しいお言葉をいただきました。カー助会の取り組みにご賛同・ご協力いただきました円山西町児童会館の職員の皆
様に改めて感謝申し上げます。

今後も、地域にいる人間のひとりとして、そして時には専門知識や技術を発揮して、地域
の皆様にお役立ていただけるよう様々な企画を実施していきますので、今後ともご協力の
ほど宜しくお願い致します。

※「まるやまカー助の会」とは、地域のみなさんと一緒に歩んでいきたいと、
医療法人と社会福祉法人の溪仁会スタッフの有志によって結成した会です



「にしまるやま通信」についてのお問い合わせ先

医療法人 溪仁会
札幌西円山病院 つながる地域サポート部 医療福祉相談課

TEL：(011)644-1380 FAX：(011)642-4347

〒064-8557 札幌市中央区円山西町4丁目7-25 札幌西円山病院 つながるサポート部 医療福祉相談課内 広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

特集 年頭所感 2022年

- ・当院訪問リハビリテーションの紹介と取り組みについて
- ・新部署『つながる地域サポート部』が発足しました
- ・【コラム】わたしたち、医療ソーシャルワーカーです!!
- ・地域とつながる「まるやまカー助の会」の活動報告



病院の
ご案内

札幌西円山病院

診療科目／内科、老年内科、神経内科、リハビリテーション科、循環器内科、歯科

病 床 数／603床(障害者施設等一般病棟、医療療養病棟、回復期リハビリテーション病棟)

札幌西円山病院 介護医療院

入所定員／60名(3人床：19部屋、個室：3部屋)



年頭所感 2022年

医療法人溪仁会 札幌西円山病院
院長 浦 信行

2020年もコロナ禍で大変な年でしたが、2021年は5月にクラスターが院内で発生し、一層の困難を経験しました。これに対しては当院だけではなく溪仁会グループの総力を掛けて対処し、何とか1か月で終息にこぎつけることができました。しかし、その間は外来診療の中止や入院を制限するなど、多くの診療機能を制限せざるを得ませんでした。円山西町の住民の方たちを始め、多くの利用者さんに御迷惑や不自由な思いをさせましたことは大変申し訳なく思っております。その後第5波が有りましたが、現在までなんとか無事に診療を継続することができております。変異株の出現などでコロナ禍の先行きはまだ見えませんが、私共は医療人として今までの歩みを崩さず、現状のニーズにフレキシブルに御答えしていく姿勢を維持しながら進んで行きたいと考えています。また、診療外活動の地域公開講座やスマイルカフェ、リハビリ健診などは現状では密集の問題が有り、院内入棟の制限などから従前の活動ができにくい状態です。しかし、今後は院外活動なども考慮しながら開催が持続できる状態を早急に作っていきたいと思っております。

御面会の不自由は院内Wi-Fi設置工事が完了し、リモート面会の体制が整いましたのでこのシステムの活用と、状況が許せば時間や規模の制限はまだありますが、面会の機会を少しずつ増やしていくつもりであります。まだまだ御不自由をおかけしますが、御了解戴きたいと思います。

さて当院は5種類の病棟機能を持っており、多機能慢性期病院として各種の医療ニーズに対応してまいりました。今後も各々の機能を更に充実させ、当院の機能の範囲に限らず、疾病の状態によっては法人内の他施設の機能をも含めて、在宅からのニーズを含めて出来るだけ多種多様なニーズに応えて行くつもりであります。

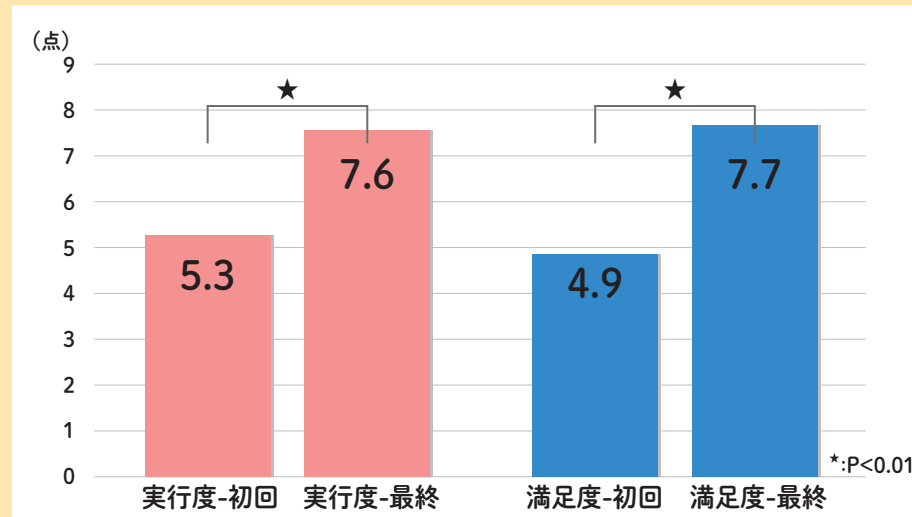
当院はコロナ禍でも今後も医療・看護・介護・リハビリ機能の維持・向上を図って行くつもりであります。職員全員の一体感を持って最良の医療・看護・介護・リハビリ提供を実践していきたいと考えております。

当院訪問リハビリテーションの 紹介と取り組みについて

第3回目

② 訪問リハビリの効果について教えてください

- 2つの指標を用いて訪問リハビリ開始時と終了時の点数を比較したところ2つとも向上していました。課題は概ね解決、実行に移され利用者ご家族の満足は満たされています。



◇実行度:

目標に対し、現在どの程度実行できているのか
(目標で立てたことをどのくらい行っているか)

◇満足度:

その実行度に対してどの程度満足しているのか

図：訪問リハビリの効果(44名の利用者対象)

- 退院後も同じ担当者による訪問リハビリを実施するためご利用者・ご家族の心理的な抵抗感が少なく、顔なじみの関係で安心して訪問リハを実施できるためご利用者・ご家族からご好評をいただいております。

新部門

『つながる地域サポート部』 が発足しました！



この度、地域住民ならびに地域の医療・介護・福祉に携わる関係者の皆様とのつながりをさらに高めるため、地域より求められるニーズに応え、ネットワークの構築をミッションとした新部門を設立いたしました。この新部門は、地域の幅広いニーズにお応えできるよう、医師・看護師・リハビリスタッフ・ソーシャルワーカー・ケアマネジャー・管理栄養士・薬剤師・事務職など、縦割りではなく部門を跨いだ職種で構成されていることが特徴です。愛称を「わっぱ」と呼び、様々な方たちと「輪」を組んで地域を元気にしていきたいと考えています。これまで実践してきた地域活動を強化し、地域・在宅へ向けた取り組みをより一層推進していきたいと考えておりますが、自院だけで完結させるのではなく、地域の方を中心として、様々な地域資源とつながりを持って連携をしながら地域を支えるお手伝いができればよいと考えています。皆様のご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

